

「CSV」をテーマに講演！ 大阪府主催「公民連携フォーラム」に参加！

セブン-イレブン・ジャパン

2017/6/7

セブン&アイ HLDGS.

CSRアクション

セブン-イレブン・ジャパンは全国各地の自治体と包括連携協定を締結し、それぞれの地域と連携したさまざまな取り組みを行っています。

この度、大阪府が主催する「公民連携フォーラム」が開催され、セブン-イレブン・ジャパンより、セブンミールを通じた「高齢者の見守り活動」や「高齢者雇用の説明会の開催」など、地域に密着した6つの取り組みをご紹介します。

今後も地域の課題に向き合いながら、地域の皆様に頼っていただけるような存在になれるよう、取り組みを進めてまいります。



セブン-イレブン・ジャパン
関西ゾーン 総務担当
マネジャー黒瀬陽一 神吉隆雄
小山裕子 岡本沙也佳

CSVとは…【社会と企業の共通価値の創造】

社会の課題を企業が事業を通じて解決すること。社会の課題が解決されるとともに、企業が利益を生み出すことにより、社会と企業双方の持続的な発展につなげる。

社会価値

地域・社会の
課題改善

共通
価値

企業価値

企業の発展

【フォーラムでご紹介した内容】



① 高齢者見守り

② 高齢者雇用



③ 小学校での放課後教室

① 栄養バランスに配慮したお食事をご自宅までお届けする「セブンミール・サービス」

⇒ お買物にお困りの高齢者の方へのお食事の手配の際に、安否確認を実施

② シニアお仕事説明会を31回実施し、約100名を採用

⇒ 地域の雇用を創出するとともに、店舗の人材を確保

③ 2016年度には、小学校にて「放課後教室」※を17回実施し、約600名が参加

⇒ 接客体験などセブン-イレブンの仕事を紹介するとともに、緊急時の駆け込みスポットとしても利用いただけることをご紹介します

※放課後教室・・・次代を担う人材育成を目的に、大阪府が企業と連携し提供しているプログラム



④ 働く女性を応援する冊子の発行



⑤ 健康弁当の共同開発



⑥ 障がい者の就業支援

④ 働く女性を応援する冊子の発行

⇒ 女性の就業支援を目的に、女性オーナー様の働き方を紹介する冊子を発行
(20,000部発行し、大阪府内の図書館や公民館など約200カ所の公共施設で配布)

⑤ 健康に配慮したオリジナル商品の開発

⇒ 大阪府民の健康増進を目的に、セブン-イレブン店舗で手軽に買える健康弁当を大阪府と共同で開発し、販売

⑥ 特別支援学校の先生・生徒さん向けの研修の実施

⇒ 障がい者の就業支援のため、接遇やレジ操作などの実践的な研修を実施
(計2回・32校・約100名が参加)



【公民連携フォーラム】

～参加された方のご意見～

「このような取り組みをしているとは知らなかった」
「私どもの自治体ともぜひ連携してほしい」
などのお声掛けをいただき、セブン-イレブンの取り組みを知っていただくきっかけになりました。

関連情報

大阪府「公民戦略デスク」ホームページ
<http://www.pref.osaka.lg.jp/gyokaku/kohmin/>